

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	特定非営利活動法人 くれよんはうす
実習期間	令和 2年 3 月 9 日 ～ 令和 2年 3 月 13 日
学生氏名	吉田 朱里
実習プログラム	<p>〈午前〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>9 時～10 時 30 分 自由遊び</li><li>10 時 30 分～ 朝の会(なかよしタイム) への参加 点呼、紙芝居、ダンス、椅子取りゲーム、ゴム遊び、縄跳など… (毎日違う遊びをスタッフの方々に回して決め、朝の会を進行する)</li><li>11 時～ 自由遊び</li></ul> <p>〈午後〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>12 時～12 時 40 分、13 時頃 昼食 子ども達の食事の補助</li><li>13 時頃～14 時 20 分 お昼寝の準備 机の片付け、布団敷、お昼寝の補助</li><li>14 時 30 分～ おやつの時間(補助)</li><li>13 時～16 時 15 分 自由遊び</li><li>16 時 20 分～ 掃除</li></ul> <p>【自由遊び】</p>

	風船バレー、紙飛行機飛ばし、オセロ、感覚遊び、かるた折り紙など
学び・気づき (300字程度)	発語が少なかったり、気持ちを言葉で伝えることが苦手な子もいるため気持ちを汲み取り、代弁することは簡単な事ではないと改めて感じた。しかし、「どうしたの?」と声をかけてあげることも大切な支援の第一歩であることに気づいた。また、子ども達だけでなく保護者の方との関わりも大切にしていることを知った。普段から一番近くで生活していて子ども達をよく知っている保護者、家族の方の声はとても大事であるため、面談や送迎時の会話など小さなことでも本当に大切な事だと思った。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	各々の年齢に合わせた事業所があり、目的や目標が違うことを理解した上でどのような支援方法が適しているのかを勉強していきたい。また、障がいの種類や特徴についてもまだまだ知識不足であることを実感したので、勉強で知識を付けていくのはもちろん、ボランティア等で障がいのある子ども達と関われる機会があれば進んで参加し経験を自信に変えていけるようにしたい。今回のインターンシップで経験したこと、アドバイスしてもらったことを参考に今後の進路活動につなげていきたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	スタッフの方から聞いた話の中にもあったが、意思疎通が難しい子ども達の気持ちを汲み取り代弁することは本当に大変なことだが、それができた時はとても嬉しいものだ。私も5日間だけの実習だったが、この気持ちを味わうことができた。また、今まで出来なかった事が出来た時、成長に立ち会うことができ、その家族と同じように喜びを共有できるのは一番の魅力だと思う。
写真 (1~3点)	